
兵庫県宝塚市武庫川及び西宮市津門川での淡水ガメの目撃記録

法西 浩

669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目 兵庫県立人と自然の博物館ひとはく地域研究員

Records of freshwater turtles in Muko river and Tsumon river , Hyogo prefecture Japan.

By Hiroshi HOUSAI

Museum of Nature and Human Activities, 6 Yayoigaoka, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan.

1. はじめに

兵庫県の水辺には、北米原産のミシシippアカミミガメ(以下アカミミガメ)、クサガメ、ニホンイシガメ(以下イシガメ)、ニホンスッポン(以下スッポン)が生息するとされるが(内山他, 2002)、スッポンは兵庫県版レッドデータブックにおいて、要調査種として扱われており、分布情報などの基礎的な情報が不足している(兵庫県, 2003)。そこで、著者はスッポンを中心に淡水ガメの目撃情報を得たので以下に記すことにした。

2. 宝塚市武庫川溪谷での淡水カメ類の目視観察

観察は、2018年6月24日午前10時から11時半(天気は晴れ)まで、宝塚市玉瀬武庫川溪谷で行い、コースを図1に示した。図1の右下に位置するJR福知山線武田尾駅を下って、川の右岸の宝塚市玉瀬を上流に向かって進んで観察を行った。このあたりは深いV字谷で、しばらく行くと、湾曲した広い河原があり、ここから再び深い高さ30~40mのV字谷に入る。再度、湾曲した広い河原がみられ、その右岸に砂洲が存在する(図1の地点A)。ここでトンネルの出入口にぶつかり、さらに進むとしばらく深い森が続く。森の切れたところで、深い淵と砂洲が現れる(図1の地点B)。このようなコースをたどり、溪谷の細い崖の道から約30~40m下を双眼鏡で観察し、目視できた個体を、500mm望遠レンズで写真に収め、記録した。観察はゆっくり、慎重に、急な動作を避けて行った。観察当日の川の水量はやや多いものの、水は透明、流れはそれほど速くなかった。観察の結果、確認された淡水ガメは、アカミミガメ、スッポンで、ニホンイシガメとクサガメは確認されなかった。

スッポンは、すべて図1の地点Aの水面から露出した岩上で見られた。図2③左の小さい個体(矢印)は、眼球が突出し、頭部先端が突出していることから、スッポンと判断した。図2④の中央の小さい個体の下方に、大きな個体(矢印)がみられ、左側に頭部と上肢が見られたので、2個体を確認できた。図2⑤では、中

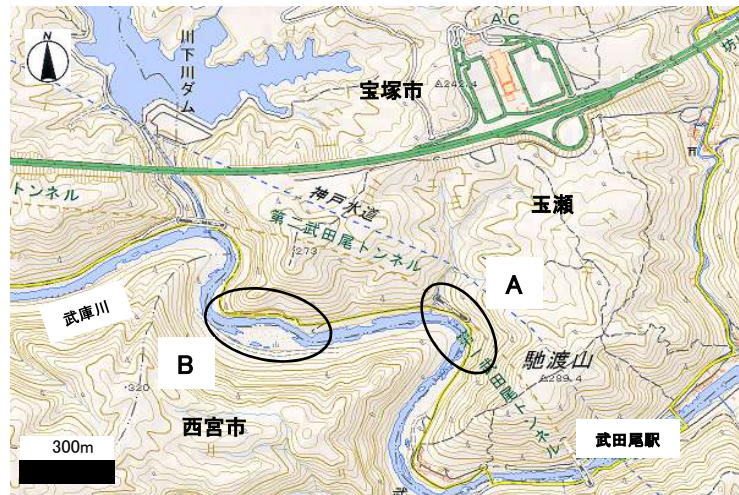


図1. 目視観察した宝塚市玉瀬の武庫川。(国土地理院地図を改変し作成)

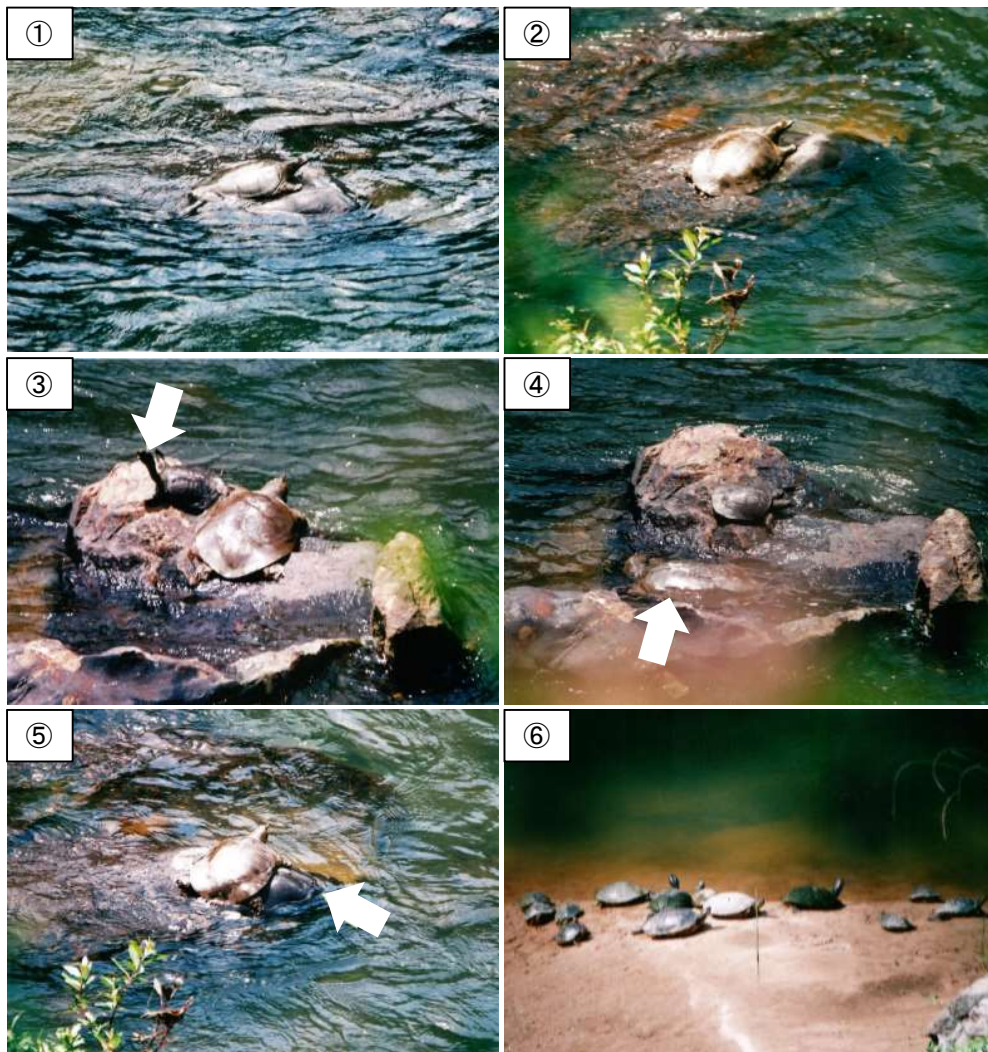


図2. 宝塚市玉瀬の武庫川で目撃した淡水ガメ。①から⑤は図1の地点Aで撮影し、⑥は図1の地点Bで撮影したもの。

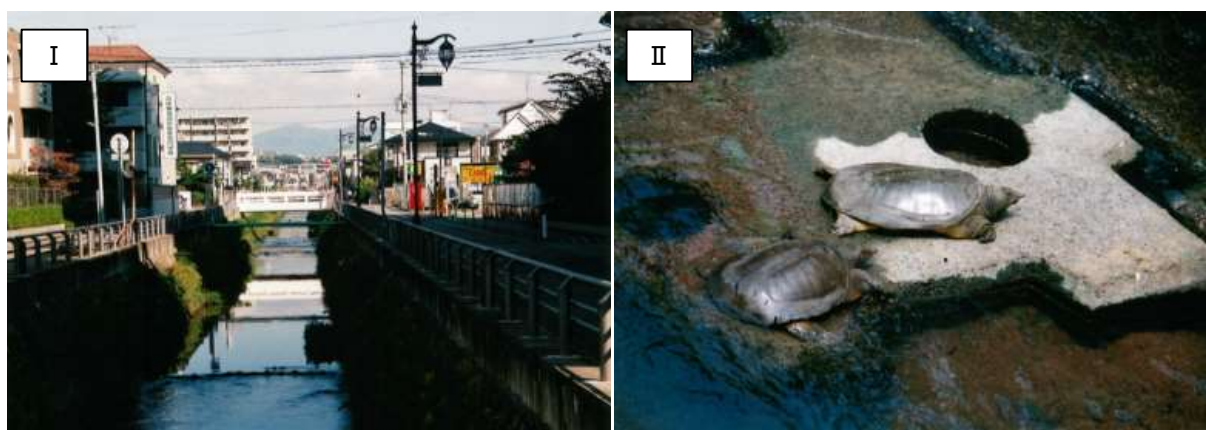


図3. 西宮市津門川(I)と目撃されたスッポン2個体(II)

央の個体の下にもう1個体(矢印)がいて、矢印先端が頭部と分かり、2個体と分かった。即ち、地点Aでスッポンを合計8個体確認した。

次にアカミミガメは合計17個体確認し、最も多く確認された。このうち4個体は、図1の地点Aで、スッポンが確認された地点よりも岸に近い流れのほとんどない岩上で、1個体ずつ点々と日光浴しているところを確認した。他13個体は図1の地点Bで、観察した地点から対岸に近い、砂洲で日光浴中のところを発見した(図2⑥)。

著者は、2016年にも同じ地点でカメの観察を行い、その際に確認された淡水カメはスッポンとアカミミガメで、イシガメとクサガメは確認されなかった(法西, 2017)。この地点には相対的にアカミミガメとスッポンが多く生息するものと思われた。これら淡水カメ類の今後の動向に注意し、観察を続けていきたい。

3. 西宮市津門川でのスッポンの目撃情報

筆者は、2017年秋から西宮市を流れる津門川でアユの調査を続けていたが、その調査時にスッポンを目撃した。スッポンを目撃したのは、2018年7月8日13時(天気は晴れ)で、場所は阪急電鉄西宮北口駅の約100m西側の西宮市高松町付近の津門川である(図3 I)。本河川は、川幅約5m、水深約50cm、周囲には民家等が存在し、掘込み三面河川の都市河川である。ここはかつて汚い川だったが、住民の清浄活動(月1回)の結果、清流となりアユが復活していた。スッポンは川床に敷かれたコンクリート板の上に2個体、静止した状態で目撃された(図3 II)。スッポンは警戒心が強く、遠くからでも人影、物音に驚いて、逃げてしまうといわれるが(内山他, 2002)、今回、比較的容易に写真撮影ができ、観察ができたので、今後も範囲を拡げ調査を行いたい。

引用文献

- 法西浩. 2017. 2016年秋武庫川溪谷で観察したカメ目2種の報告. 共生のひろば12: 122-124.
- 兵庫県. 2003. 改訂・兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック2003—. 財団法人ひょうご環境創造協会, 兵庫. 382p.
- 内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎. 2002. 決定版日本の両生爬虫類. (株)平凡社, 東京. 335p.